

《履修上の留意事項》[面接授業のみ実施]

《担当者名》金盛 直茂（看）

【概 要】

経済学は初めての方が多くと思う。経済学は、今を生きるために必要な道具である。決して学者や官僚の方々だけが知っていれば良いものではなく、この企業に入社すべきなのか？この人と結婚すべきなのか？いま、家は建てるべきなのか？人生の重大な選択の際、経済学はあなたに示唆を与えてくれるものである。

本授業で経済学を学ぶことによって、現実の様々な問題（身近な日常的な問題から日本経済まで）を、経済学的思考で、考えることができるようになるであろう。

【学習目標】

- ①経済学（主に、ミクロ経済学とマクロ経済学）の基礎を修得し、資本主義経済の仕組みを理解する。
- ②経済学の基礎をもとに日本の財政・金融政策から社会保障を概観し、社会の問題に対して経済学的視点で説明することができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	ガイダンス	経済学とはどのような学問かを理解する。	金盛 直茂
2	経済学の考え方①	トレードオフと機会費用を使って、人々がどう選択するかを考える。	金盛 直茂
3	経済学の考え方②	経済循環図から、市場経済・計画経済との違いを考える。	金盛 直茂
4	経済学の考え方③	需要と供給から市場を理解する。	金盛 直茂
5	経済学の考え方④	需要と供給を使って、様々な市場に応用する方法を学ぶ。	金盛 直茂
6	経済学の考え方⑤	市場の失敗と政府の役割を理解する。	金盛 直茂
7	日本経済の仕組み①	GDPとはどのようなものを学び、日本のGDPはどれほどかを理解する。	金盛 直茂
8	日本経済の仕組み②	日本の財政政策。政府支出は、GDPをどれほどあげるのか。	金盛 直茂
9	日本の社会保障①	人口減少と社会保障。少子化はなぜ起きたのか。	金盛 直茂
10	日本の社会保障②	公的年金制度。賦課方式と積立方式の違いを学ぶ。	金盛 直茂
11	日本の社会保障③	医療保険制度。医療保険と財政の問題を考える。	金盛 直茂
12	日本の社会保障④	生活保護制度。生活保護と財政の問題を考える。	金盛 直茂
13	日本の財政①	歳入から日本の財政状態を把握する。	金盛 直茂
14	日本の財政②	日本の財政赤字。とくに、プライマリーバランスとは何か	金盛 直茂
15	総括	平成と令和の日本経済。バブル以降の失われた20年を概観する。	金盛 直茂

【評価方法】

小テスト40%、期末試験60%で評価する。小テストを毎回の授業で課し、決められた日時までに提出してもらう。小テストは、次回の授業にて返却し、授業内で小テストの解説を行う。

【備 考】

教科書 ： 使用しない。毎回、プリント資料を配布する。

参考書　：・マンキュー 『マンキュー入門経済学 第3版』,東洋経済新報社, 2019年
・安岡匡也 『経済学で考える社会保障制度』,中央経済社, 2017年
・伊藤元重 『入門経済学 第4版』,日本評論社, 2015年
・中谷武、中村保 編 『1からの経済学』,碩学舎, 2010年

【学習の準備】

復習：授業終了後に小テストと課題を提示する。小テストと課題に取り組むこと（80分）。

予習：関連した文献、記事を提示するので、読んでおくこと（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

社会の変化、科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力を修得しているという、心理科学部のディプロマ・ポリシーに適合している。